

令和7年度 医療従事者の負担軽減及び処遇改善に資する計画

1 勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する計画

① 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職等における役割分担

令和7年4月1日

項目	目標達成年次	具体的な取組み内容
初診時の問診の実施	令和7年度中	外来クランクによる完全問診の実施
	令和8年度	初診患者を対象としたiPadを用いた問診を導入するにあたり、システム上の課題を整理しつつ検証を行う。
静脈採血等の実施	一部実施 令和7年度も継続	外来は、採血室で検査技師が採血する。病棟は、検査技師と看護師に完全に移行する。
入院説明の実施	実施済み 令和7年度も継続	患者サポートセンターが予約入院及び緊急入院を含めて全診療科の入院患者に入院前支援業務を実施する。
薬の説明や服薬の指導	実施済み 令和7年度も継続	服薬指導を通じて把握した患者情報から積極的な処方提案をする。
	令和7年度中	プロトコルにより疑義照会件数を月30件以下に減らす
	実施済み 令和7年度も継続	DI情報の提供、持参薬の管理など継続的な実施
病診連携・外来縮小	一部実施 令和7年度も継続	他院からの転院紹介患者の相談をMSWが初期対応をする。病状が安定した患者を積極的に開業医に紹介する。
NDCの活用	令和7年度も継続	救急患者の予診・問診、静脈採血及び入院説明を行う。特定ケア看護師業務マニュアルに沿った特定行為及び代行入力

② 医師の勤務体制に係る取組

項目	目標達成年次	具体的な取組み内容
勤務計画書、連続当直を行わない勤務体制の実施	令和8年度	口腔外科のオンコールを連続としない勤務表の作成
	実施済み 令和7年度も継続	休日の日当直が別の医師になるよう勤務表を作成する。
複数主治医性の実施	一部実施 令和7年度も継続	複数の医師によるチームの編成を推進する。
多様な勤務形態の導入	令和8年度	医師短時間正職員就業規程を整備する。
勤務間インターバル	実施済み 令和7年度も継続	適正な勤務時間管理を行い、出退勤時間の把握と休息時間の確保を確実に進行。
常勤医師の確保	毎年	大学派遣、紹介会社を通じて利用できる手段を取り入れ、医師確保に努める。

～看護職員の負担の軽減及び処遇改善に対する計画～

令和7年4月1日

報告区分	項目	目標	目標達成年次
夜勤の負担軽減	月一人当たりの夜勤時間数の減少	月一人当たりの夜勤時間数が72時間以内	令和7年度も継続
妊娠・子育て等の看護職員に対する配慮	業務の軽減	夜勤の減免制度	令和7年度も継続
		部分休業 24時間毎日預けられる朝8時前に預けられる	令和7年度も継続
看護職員と多職種との業務負担	リハビリ室への患者案内	送迎を継続依頼	令和7年度も継続
	看護職員への研修	看護職員の身体的負担軽減を図る	令和8年3月
	喀痰吸引実施	喀痰吸引実施に向けた研修の実施・療法士の育成	令和8年3月
	採血準備実施	病棟採血の準備と実施	令和8年3月
		状況により休日の外来採血実施	令和7年度も継続
	検査容器の管理	スワブ・培養期限等チェック	令和7年度も継続
	病棟薬剤管理	退院患者の服薬指導	令和7年度も継続
		入院患者全員の持参薬確認 持参薬から当院処方への変更	令和7年度も継続
	配置薬管理	配置薬管理の確認	令和8年3月
	検査説明（放射線） 検査送迎	外来の検査説明実施	令和7年度も継続（一部）
		患者の送迎	令和8年3月
歯科衛生士との連携	看護師への口腔ケア指導の実践 ケア終了後病棟へ搬送する	令和7年度も継続	
入退院支援	入退院支援室看護師と協働し 退院支援・調整の実施	令和7年度も継続	
事務	高度医療機器用紙記入 施設の処置オーダーの実施入力	令和8年3月 令和8年3月	
看護補助者の連携	看護補助者の充実	看護補助者の募集あと2名（夜勤ができる職員） 処遇改善手当令和6年4月から開始	令和7年度も継続 令和7年度も継続
		看護職員の教育	看護補助者活用に関する研修実施